

石炭ノ如キニ於テモ吾人ヲシテ焦慮セシムルモノ轉々尠カラズ、我國ノ石炭ノ如キハ遠カラズ盡クハ  
 ニ至ルベシト云フ、自給自足産業ノ獨立ハ國家獨立ノ根本要素ニシテ不能ノ國ハ終ニ亡ビシ。  
 更ニ考フルニ我國ノ人口ハ年々増加シ最近兩三年ノ如キハ毎年約七八十萬ノ増加ヲ示セリ、生産物ガ  
 等差級數的增加ヲ爲スニ對シテ人口ガ等比級數的ノ増加ヲ示スハ益々生活難 因テナスベシ。朝鮮ノ  
 如キハ併合後僅ニ十年、施政先ヅ宜シキヲ得テ當時千二百萬ノ人口今々千八百萬トナリ、六百萬ノ  
 増加ヲ示セリ、朝鮮ニ於テモ産米ノ數量ハ人口ニ及バズ米ノ問題ハ唯單ニ内地ノミニ非マラズシテ  
 テ亦朝鮮ノ問題トナルベシ、今ニ於テスラ陰謀性ニ富メル新附ノ民其ノ爲合ニ於テ果シテ如何、再度  
 ノ戰役ヲ經テ幾萬ノ同胞ト幾億ノ財帛トヲ犧牲ニシテ贏チ得タル滿州ノ土地サハモ其後十餘年ヲ經過  
 シテ猶辛ジテ十萬ノ移民ヲ送レルニ過ギズ、向後橫溢シ來ル人口ノ過剩ヲ如何ニセントスルカ。  
 人ハ自然ニ於テ裸裎ナリ無一物ナリ、一度地上ニ投ゲ出サレテ呱呱ノ聲ヲ掲グルヤ、一切ノ地上ハ皆  
 既ニ他人ノ所有タリ、況ンヤ其ノ親ガ無資産階級ノモノナランニハ住家サヘモ亦之レ他人ノ所有タリ  
 焉ンゾ満足ナル教育ヲ受クルコトヲ得ンヤ、年々増加スル人口ノ大半ハ大抵斯ノ如キ種類ニ屬スルモ  
 ノニアラザルカ、斯クテ愈々生活難ハ叫バル、ト共ニ次第ニ公共ノ觀念ハ薄ラゲニ至ルベシ國家ノ危  
 險之ヨリ甚シキハナシ。

戰時中宛トシテ火事場泥棒ノ如キ立場ニアリテ漸ク輸出超過ヲ示シタル我國ノ貿易モ、戰後再び輸入

超過トナリテ本年ハ既ニ其差約一億トナレリ、我國貿易ノ將來モ亦憂フベキニアラズヤ。  
 觀シ來レバ實ニ國家非常ノ場合ニシテ正ニ舉國一致、國民全般ノ覺醒ヲ要スルノ秋タリ、サレバ吾人  
 ハ先ヅ直接ニ國家産業ノ任ニ當ル一般勞働者ノ自覺ヲ促進シテ國家改造ノ實ヲ擧ゲントス、戰陣ニ  
 臨ンデ弱卒ヲ混ズルハ軍ノ戰鬪力ヲ削グガ如ク國家ニ於テモ亦訓練アル國民節制アル國民、修養アル  
 國民ノ有無多少ハ直チニ國家ノ實力威力ニ影響スル處極メテ大ナルモノアルガ故ニ、我等勞働者モ最  
 善ノ努力ヲ盡シテ敢テ人後ニ落テザルノ意氣ト覺悟ナカルベカラズ。  
 我等勞働者ノ實力ノ養成ヲ企テ生活ノ安定ヲ保チ、亦地位ノ向上ヲ圖リテ靈肉ノ解放、個性ノ發揚ニ  
 努メ人トシテ恥ヂズ、國民トシテ劣ラザル底ノ域ニ到達セントスルハ餘程ノ困難ニシテ或ハ無謀ノ割  
 策ナルヤモ未ダ知ルベカラザルモ、時勢ノ進運、國家ノ立場ハ何時マデモ現狀ノ儘ナルヲ許サズ。  
 我等ハ自覺セザルニカ、或、向上セザルニベカラズ、而シテ人間並ノ待遇、社會並ノ地位ヲ贏チ得テ國  
 家ノ一員トシテ敢テ後レザラン事ヲ欲セザルベカラズ。勞働者ノ自覺ハ國家ノ自覺、勞働者ノ向上ハ國  
 家ノ向上ニシテ、國家ノ全員就レヲモシテ弱卒ナカラシメ落伍者ナカラシムルハ是レ畢竟國家ヲシテ  
 優秀ナラシムル所以、政府、資本金、勞働者トツ間ハズ相率ヒテ此ノ目的ニ盡進セザルベカラズ。  
 然レラ勞働者ニ真ニ親切ナルモノハ先ヅ勞働者自身ナラザルベカラズ、勞働者ヲ救済スルモノハ勞  
 働者自身ノ外ニアラナシ獨立、獨行先ヅ自ラ起テ政府、資本金等ヲシテ其ノ後援タラシメヨ、是レ日